

# みんな

Minna no Nihongo



初級Ⅱ 第2版  
本冊

CD付

# の 日本語

スリーイーネットワーク



み

Minna no Nihongo

ん

な

の

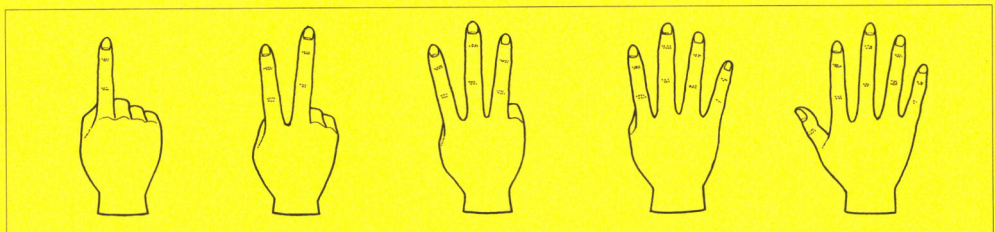
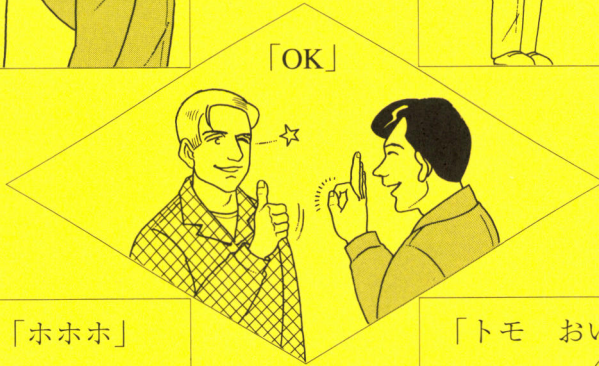
日  
本  
語

初級Ⅱ 第2版  
本冊

スリーイーネットワーク



# み 身ぶり





# て 手ぶり









みんなの日本語

初級Ⅱ 第2版

Minna no Nihongo

本冊

©1998 by 3A Corporation

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, stored in a retrieval system or transmitted in any form or by any means, electronic, mechanical, photocopying, recording, or otherwise, without the prior written permission of the Publisher.

Published by 3A Corporation.

Trusty Kojimachi Bldg., 2F, 4, Kojimachi 3-Chome, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083,  
Japan

ISBN978-4-88319-646-3 C0081

First published 1998

Second Edition 2013

Printed in Japan



# まえがき

本書は、『みんなの日本語』という書名が示すように、初めて日本語を学ぶ人が、だれでも楽しく学べるよう、また教える人にとっても興味深く教えられるように3か年以上の年月をかけて、企画・編集したもので、『新日本語の基礎』の姉妹編ともいえるべき本格的な教科書です。

ご存知のように、『新日本語の基礎』は技術研修生のために開発された教科書であるにもかかわらず、初級段階の日本語教材として、内容が十分整備され、短時間で日本語の会話を習得しようとする学習者にとって、学習効率が抜群によいところから、現在も国内はもちろん海外でも広く使われております。

さて、近年日本語教育はますます多様化してきております。国際関係の発展に伴い諸外国との人的交流が深まる中、さまざまな背景と目的を持つ外国人が日本の地域社会に受け入れられてきています。このような外国人の増加による日本語教育をめぐる社会環境の変化はまた、それぞれの日本語教育の現場にも影響を及ぼし、学習ニーズの多様化と、それらに対する個別の対応がもとめられています。

このような時期にあたり、スリーエーネットワークは、国の内外で長年にわたり日本語教育の実践に当たってこられた多くの方々のご意見とご要望にこたえて、『みんなの日本語』を出版することとなりました。すなわち、『みんなの日本語』は『新日本語の基礎』の特徴、学習項目と学習方法のわかりやすさを生かすとともに、会話の場面や登場人物など、学習者の多様化に対応して、より汎用性の高いものにするなど、国の内外のさまざまな学習者と地域の特性にも支障なく、日本語の学習が楽しく進められるように内容の充実と工夫を図りました。

『みんなの日本語』の対象は、職場、家庭、学校、地域などで日本語によるコミュニケーションを今すぐ必要としている外国人のみなさんです。初級の教材ですが、登場する外国人のみなさんと日本人の交流の場面には、できるだけ日本事情と日本人の社会生活・日常生活を反映させるようにしました。主として一般社会人を対象にしていますが、もちろん大学進学の前備課程、あるいは専門学校・大学での短期集中用教科書としてもお勧めできるものです。

なお、当社では学習者の多様性と現場の個々のニーズにこたえるため、今後も引き続き新しい教材を積極的に制作してまいりますので、変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。

最後に、本書の編纂に当たりましては各方面からのご意見、授業での試用など、多大のご協力をいただきました。ここに深く感謝申し上げます。スリーエーネットワークはこれからも日本語学習教材の出版等を通じて、人と人のネットワークを全世界に広げて行きたいと願っております。

どうか一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

1998年6月

株式会社スリーエーネットワーク 代表取締役社長 小川巖



## 第2版まえがき

『みんなの日本語 初級 第2版』発行によせて

『みんなの日本語 初級 第2版』を発行することとなりました。『みんなの日本語 初級』は初版の「まえがき」に記しましたように、技術研修生のために開発された『新日本語の基礎』の姉妹編とも言うべき教科書です。

『みんなの日本語 初級 I 本冊』の初版第1刷発行は1998年3月です。この時期は、国際関係の発展に伴い、日本語教育をめぐる社会環境も変化し、急激に増加した学習者と学習目的、ニーズの多様化も著しく、それらに対する個別の対応が求められました。スリーエーネットワークは、国内外の日本語教育の実践現場から寄せられたご意見とご要望に応じて、『みんなの日本語 初級』を出版しました。

『みんなの日本語 初級』は学習項目と学習方法のわかりやすさ、学習者の多様化に配慮した汎用性の高さ、また教材として内容が十分整備され、日本語の会話を短期間で習得しようとする学習者にとって学習効果が抜群によいとの評価を得て、10年以上にわたり、ご使用いただいております。しかし、「ことば」は時代とともに生きています。この間、世界も日本も激動の中がありました。特にこの数年は日本語と学習者を取り囲む状況は大きく変化しました。

このような状況を踏まえ、今回、小社は外国人に対する日本語教育に更に貢献できますよう、出版・研修事業の経験、また学習者や教育現場からのご意見やご質問の蓄積をすべて還元する形で『みんなの日本語 初級 I・II』を見直し、一部改訂を行いました。

改訂の柱は運用力の向上と時代の流れにそぐわないことばや場面の変更です。学習者や教育現場のご意見を尊重し、従来の「学びやすく、教えやすい」教科書の構成を守り、また練習や問題を拡充しました。単に指示に従って受動的に練習を行うのではなく、状況を自分で把握し、考えて表現する産出力の強化を図りました。そのために、イラストを多用しました。

なお、本書の編纂に当りましては各方面からのご意見、授業での使用など、多大なご協力をいただきましたことをここに深く感謝申し上げます。小社はこれからも日本語学習者にとって必要なコミュニケーションのためだけでなく、人と人の国際交流活動に貢献できる教材を開発し、皆様のお役に立つことを願っております。今後ともなお一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

2013年1月

株式会社スリーエーネットワーク 代表取締役社長 小林卓爾

# 本書をお使いになる方へ

## I. 構成

『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版』は『本冊 (CD付)』『翻訳・文法解説』からなる。『翻訳・文法解説』は英語版をはじめとして12か国語の出版が予定されている。

この教科書は日本語を話す・聞く・読む・書くの4技能を身につけることを目指して構成されている。ただし、ひらがな、かたかな、漢字などの文字の読み書き指導は『本冊』『翻訳・文法解説』には含まれていない。

## II. 内容

### 1. 本冊

1) 本課 『みんなの日本語 初級Ⅰ 第2版』(全25課)に続く第26課から第50課までの構成で、内容は以下のように分けられる。

- ① **文型** その課で学ぶ基本文型を掲げてある。
- ② **例文** 基本文型が実際にどのように用いられているかを短い談話の形で示した。また、新出の副詞、接続詞などの使い方や、基本文型以外の学習項目も示されている。
- ③ **会話** 会話には日本で生活する外国人が登場し、様々な場면을繰り広げる。各課の学習内容に加え、日常生活で使用されるあいさつなどの慣用表現を用い構成されている。余裕があれば、『翻訳・文法解説』中の参考語彙を利用して、会話を発展させることもできる。
- ④ **練習** 練習は、A、B、Cの三段階に分かれる。  
練習Aは、文法的な構造を理解しやすいように、視覚的にレイアウトした。基本的な文型の定着を図るとともに、活用形の作り方、接続の仕方などが学びやすくなるよう配慮した。  
練習Bでは、様々なドリル形式を用いて、基本文型の定着の強化を図る。  
➡のついた番号は、イラストを用いる練習を示す。  
練習Cは、コミュニケーション力養成のための練習である。提示されている会話の下線部のことばを状況にあったものに置き換えて会話を行うが、単なる代入練習にならないよう、モデル文の代入肢を学習者の状況に合う

ように変えたり、内容を膨らませたり、さらには場面を展開させたりする練習を試みてほしい。

なお練習B、練習Cの解答例は、別冊に収録した。

- ⑤ **問題** 問題には、聞き取り問題、文法問題、読解問題および発展課題がある。聞き取りは、短い質問に答える問題と、短い会話のやり取りを聞いて要点を把握する問題がある。文法問題では、語彙や文法事項の理解を確認する。読解問題は、既習語彙、文法を応用したまとまった文を読んで、その内容に関する様々な形式のタスクをする。また、発展課題は、読み物に関連したトピックについて書いたり話したりする。なお、この教科書では、教育上の配慮から分かち書きを採用しているが、中級に向け、徐々に分かち書きのない文に慣れるように、初級Ⅱの読み物では分かち書きをしていない。
- ⑥ **復習** 数課ごとに学習事項の要点を整理するために用意した。
- ⑦ **副詞・接続詞・会話表現のまとめ** この教科書に提出された副詞・接続詞・会話表現を整理するための問題を用意した。

## 2) 動詞のフォーム

この教科書（『初級Ⅰ』を含む）に提出された動詞のフォームについてのまとめを後続句とともに掲載した。

## 3) 学習項目一覧

この教科書に提出された学習項目を練習Aを中心に整理した。文型、例文、および、練習B、練習Cとの関連がわかるようになっている。

## 4) 索引

第1課から第50課までの各課の新出語彙、表現などが、それぞれの初出課とともに載せてある。

## 5) 付属CD

本冊付属のCDには、各課の会話、問題の聞き取り部分が収録されている。

## 2. 翻訳・文法解説

第26課から第50課までの

- ① 新出語彙とその翻訳
- ② 文型、例文、会話の翻訳
- ③ その課の学習に役立つ参考語彙と日本事情に関する簡単な紹介
- ④ 文型および表現に関する文法説明



### III. 学習に要する時間

1課あたり4～6時間、全体で150時間を目安としている。

### IV. 語彙

日常生活で使用頻度の高いものを中心に約1,000語を取り上げている。

### V. 表記

漢字は、原則として、「常用漢字表（1981年内閣告示）」による。

- 1) 「熟字訓」（2文字以上の漢字を組み合わせ、特別な読み方をするもの）のうち、「常用漢字表」の「付表」に示されるものは漢字で書いた。

例：<sup>ともだち</sup>友達 <sup>くだもの</sup>果物 <sup>めがね</sup>眼鏡

- 2) 国名・地名などの固有名詞、または、芸能・文化などの専門分野の語には、「常用漢字表」にない漢字や音訓も用いた。

例：<sup>おおさか</sup>大阪 <sup>なら</sup>奈良 <sup>かぶき</sup>歌舞伎

- 3) 見やすさを考慮し、かな書きにしたものもある。

例：ある（有る・在る） たぶん（多分） きのう（昨日）

- 4) 数字は原則として算用数字を用いた。

例：9時 4月1日 1つ

### VI. その他

- 1) 文中で省略できる語句は、[ ] でくくった。

例：父は 54 [歳] です。

- 2) 別の表現がある場合は、( ) でくくった。

例：だれ（どなた）

# 効果的な使い方

## 1. ことばを覚えます

『翻訳・文法解説』に各課の新しいことばと訳が提出されています。出てきた新しいことばを使って短い文を作る練習をしながら覚えるとよいでしょう。

## 2. 文型の練習をします

文型の正しい意味をとらえ、文の形がしっかり身につくまで声に出して「練習A」、「練習B」を練習します。

## 3. 会話の練習をします

「練習C」はひとまとまりの短いやり取りです。パターン練習だけで終わらず、会話を続け、膨らませるようにします。

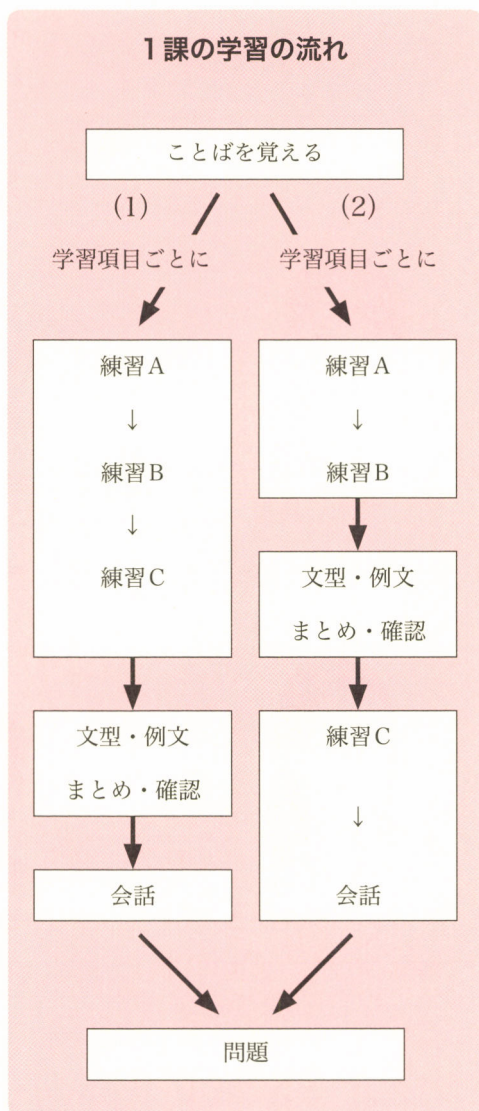
「会話」は日常生活で実際に遭遇する場面を取り上げてあります。CDを聞きながら動作もつけて実際に演じてみると、自然なやり取りのリズムを身につけることができるでしょう。

## 4. 確認します

その課の学習の総仕上げとして「問題」があります。正しく理解したかどうか「問題」で確認します。

## 5. 実際に話してみます

学んだ日本語を使って日本人に話しかけてみます。習ったことをすぐ試してみる。それが上達への近道です。



(1) または (2) の流れで学習します。学習項目は巻末の学習項目一覧を見てください。

とうじょうじんぶつ  
登場人物



マイク・ミラー

アメリカ、IMCの社員



すずき やすお  
鈴木 康男

にほん 日本、IMCの社員



なかむら あきこ  
中村 秋子

にほん 日本、IMCの営業課長



イー・ジンジュ

かんこく 韓国、AKCの研究者



タワポン

たい、さくら大学の学生



カリナ

いんどネシア、富士大学の学生



おがわ ひろし  
小川 博

にほん 日本、マイク・ミラーの隣人



おがわ よね  
小川 よね

にほん 日本、おがわ ひろしの母



おがわ さちこ  
小川 幸子

にほん 日本、会社員





カール・シュミット

ドイツ、パワー電気の エンジニア



クララ・シュミット

ドイツ、ドイツ語の 教師



伊藤 ちせ子

日本、ひまわり 小学校の 教師、  
ハンス・シュミットの 担任



渡辺 あけみ

日本、パワー電気の 社員



高橋 透

日本、パワー電気の 社員



林 真紀子

日本、パワー電気の 社員



ジョン・ワット

イギリス、さくら大学の 英語の 教師



松本 正

日本、IMC (大阪) の 部長



松本 良子

日本、主婦



ハンス

ドイツ、小学生 12歳、

カールと クララ・シュミットの 息子



グプタ

インド、IMCの 社員



木村 いずみ

日本、アナウンサー

※IMC (コンピューターの ソフトウェアの 会社)

※AKC (アジア研究センター)

# 目次

## 第26課

1. あしたから 旅行なんです。
2. 生け花を 習いたいんですが、いい 先生を 紹介して いただけませんか。
- 会話：ごみは どこに 出したら いいですか

## 第27課

1. わたしは 日本語が 少し 話せます。
2. 山が はっきり 見えます。
3. 駅の 前に 大きい スーパーが できました。
- 会話：何でも 作れるんですね

## 第28課

1. 音楽を 聞きながら 食事します。
2. 毎朝 ジョギングを して います。
3. 地下鉄は 速いし、安いし、地下鉄で 行きましょう。
- 会話：出張も 多いし、試験も あるし……

## 第29課

1. 窓が 閉まって います。
2. 電車で 傘を 忘れて しまいました。
- 会話：忘れ物を して しまったんです

## 第30課

1. 交番に 町の 地図が はって あります。
2. 旅行の まえに、インターネットで いろいろ 調べて おきます。
- 会話：非常袋を 準備して おかないと

だい 31 課

44

1. いっしょに 行こう。
  2. 将来 自分の 会社を 作ろうと 思って います。
  3. 来月 車を 買う つもりです。
- 会話：料理を 習おうと 思って います

だい 32 課

52

1. 毎日 運動した ほうが いいです。
  2. あしたは 雪が 降るでしょう。
  3. 約束の 時間に 間に 合わないかも しれません。
- 会話：無理を しない ほうが いいですよ

だい 33 課

60

1. 急げ。
  2. 触るな。
  3. 立ち入り禁止は 入るなど いう 意味です。
  4. ミラーさんは 来週 大阪へ 出張すると 言って いました。
- 会話：これは どういう 意味ですか

だい 34 課

68

1. 先生が 言った とおりに、書きます。
  2. ごはんを 食べた あとで、歯を 磨きます。
  3. コーヒーは 砂糖を 入れないで 飲みます。
- 会話：わたしが した とおりに、して ください

だい 35 課

76

1. 春に なれば、桜が 咲きます。
  2. 天気が よければ、向こうに 島が 見えます。
  3. 北海道旅行なら、6月が いいです。
- 会話：どこか いい 所、ありませんか

ふくしゅう  
復習 I

84

ふくし せつそくし かいわ ひょうげん  
副詞・接続詞・会話表現の まとめ I

86



だい 36 課

88

1. 速く泳げるように、毎日練習して います。
  2. やっと自転車の乗れるようになりました。
  3. 毎日日記を書くように して います。
- 会話：毎日運動するように して います

だい 37 課

96

1. 子どものとき、よく母に しかられました。
  2. ラッシュの電車で足を踏まれました。
  3. 法隆寺は607年に建てられました。
- 会話：金閣寺は14世紀に建てられました

だい 38 課

104

1. 絵をかくのは楽しいです。
  2. わたしは星を見るのが好きです。
  3. 財布を持って来るのを忘れました。
  4. わたしが日本へ来たのは去年の3月です。
- 会話：片づけるのが好きなんです

だい 39 課

112

1. ニュースを聞いて、びっくりしました。
  2. 地震でビルが倒れました。
  3. 体の調子が悪いので、病院へ行きます。
- 会話：遅れて、すみません

だい 40 課

120

1. JL107便は何時に到着するか、調べてください。
  2. 台風9号は東京へ来るか、どうか、まだわかりません。
  3. この服を着てみてもいいですか。
- 会話：友達ができたか、どうか、心配です

ふくしゅう 復習 J

128

だい 41 課

130

1. わたしは ワット先生に 本を いただきました。
  2. わたしは 先生に 漢字の まちがいを 直して いただきました。
  3. 部長の 奥さんが お茶を 教えて くださいました。
  4. わたしは 息子に 紙飛行機を 作って やりました。
- かいわ 会話：ご結婚 おめでとう ございます

だい 42 課

138

1. 将来 自分の 店を 持つ ために、貯金して います。
  2. この 靴は 山を 歩くのに いいです。
- かいわ 会話：ボーナスは 何に 使いますか

だい 43 課

146

1. 今にも 雨が 降りそうです。
  2. ちょっと 切符を 買って 来ます。
- かいわ 会話：毎日 楽しそうです

だい 44 課

154

1. ゆうべ お酒を 飲みすぎました。
  2. この パソコンは 使いやすいです。
  3. ズボンを 短く して ください。
- かいわ 会話：この 写真みたいに して ください

だい 45 課

162

1. カードを なくした 場合は、すぐ カード会社に 連絡して ください。
  2. 約束を したのに、彼女は 来ませんでした。
- かいわ 会話：コースを まちがえた 場合は、どう したら いいですか

ふくしゅう 復習 K

170

だい 46 課

172

1. 会議は 今から 始まる ところです。
  2. 彼は 3月に 大学を 卒業した ばかりです。
  3. ミラーさんは 会議室に いる はずです。
- 会話：先週 直して もらった ばかりなのに、また……

だい 47 課

180

1. 天気予報に よると、あしたは 寒く なるそうです。
  2. 隣の 部屋に だれか いるようです。
- 会話：婚約したそうです

だい 48 課

188

1. 息子を イギリスへ 留学させます。
  2. 娘に ピアノを 習わせます。
- 会話：休ませて いただけませんか

だい 49 課

196

1. 課長は 帰られました。
  2. 社長は お帰りに になりました。
  3. 部長は アメリカへ 出張なさいます。
  4. しばらく お待ち ください。
- 会話：よろしく お伝え ください

だい 50 課

204

1. 今月の スケジュールを お送りします。
  2. あした 3時に 伺います。
  3. 私は アメリカから 参りました。
- 会話：心から 感謝いたします

ふくしゅう 復習 L

212

ふくし 副詞・接続詞・会話表現の まとめ II

214



そう ふくしゅう  
総復習

216

どうし

動詞の フォーム

222

がくしゅうこうもくいちらん

学習項目一覧

224

さくいん

索引

228

『みんなの日本語 初級 I 第2版 本冊』の内容

第1課

1. わたしは マイク・ミラーです。
  2. サントスさんは 学生じゃ ありません。
  3. ミラーさんは 会社員ですか。
  4. サントスさんも 会社員です。
- 会話：初めまして

第2課

1. これは 辞書です。
  2. それは わたしの 傘です。
  3. この 本は わたしのです。
- 会話：これから お世話に なります

第3課

1. ここは 食堂です。
  2. エレベーターは あそこです。
- 会話：これを ください

第4課

1. 今 4時5分です。
  2. わたしは 毎朝 6時に 起きます。
  3. わたしは きのう 勉強しました。
- 会話：そちらは 何時までですか

第5課

1. わたしは 京都へ 行きます。
  2. わたしは タクシーで うちへ 帰ります。
  3. わたしは 家族と 日本へ 来ました。
- 会話：この 電車は 甲子園へ 行きますか

第6課

1. わたしは 本を 読みます。
  2. わたしは 駅で 新聞を 買います。
  3. いっしょに 神戸へ 行きませんか。
  4. ちょっと 休みましょう。
- 会話：いっしょに 行きませんか

第7課

1. わたしは パソコンで 映画を 見ます。
  2. わたしは 木村さんに 花を あげます。
  3. わたしは カリナさんに チョコレートを もらいました。
  4. わたしは もう メールを 送りました。
- 会話：いらっしゃい

第8課

1. 桜は きれいです。
  2. 富士山は 高いです。
  3. 桜は きれいな 花です。
  4. 富士山は 高い 山です。
- 会話：そろそろ 失礼します

第9課

1. わたしは イタリア料理が 好きです
  2. わたしは 日本語が 少し わかります。
  3. きょうは 子どもの 誕生日ですから、早く 帰ります。
- 会話：残念ですが

第10課

1. あそこに コンビニが あります。
  2. ロビーに 佐藤さんが います。
  3. 東京ディズニーランドは 千葉県に あります。
  4. 家族は ニューヨークに います。
- 会話：ナンブラー、ありますか

第11課

1. 会議室に テーブルが 7つ あります。
  2. わたしは 日本に 1年 います。
- 会話：これ、お願いします

第12課

1. きのは 雨でした。
  2. きのは 寒かったです。
  3. 北海道は 九州より 大きいです。
  4. わたしは 1年で 夏が いちばん 好きです。
- 会話：祇園祭は どうでしたか

第13課

1. わたしは 車が 欲しいです。
  2. わたしは すしを 食べたいです。
  3. わたしは フランスへ 料理を 習いに 行きます。
- 会話：別々に お願いします

だい 第14課

1. ちょっと 待って ください。
2. 荷物を 持ちましようか。
3. ミラーさんは 今 電話を かけて います。

かいわ 会話：みどり 町まで お願ひします

だい 第15課

1. 写真を 撮っても いいですか。
2. サントスさんは 電子辞書を 持って います。

かいわ 会話：ご家族は？

だい 第16課

1. 朝 ジョギングを して、シャワーを 浴びて、会社へ 行きます。
2. コンサートが 終わってから、 レストランで 食事しました。
3. 大阪は 食べ物 が おいしいです。
4. この 部屋は 広くて、明るい です。

かいわ 会話：使い方を 教えて ください

だい 第17課

1. 写真を 撮らないで ください。
2. パスポートを 見せなければ なりません。
3. 日曜日は 早く 起きなくても いいです。

かいわ 会話：どう しましたか

だい 第18課

1. ミラーさんは 漢字を 読む ことができます。
2. わたしの 趣味は 映画を 見る ことです。
3. 寝る まえに、日記を 書きます。

かいわ 会話：趣味は 何ですか

だい 第19課

1. 相撲を 見た ことがあります。
2. 休みの 日は テニスを したり、 散歩に 行ったり します。
3. これから だんだん 暑く なります。

かいわ 会話：ダイエットは あしたから します

だい 第20課

1. サントスさんは パーティーに 来なかった。
2. 東京は 人が 多い。
3. 沖縄の 海は きれいだった。
4. きょうは 僕の 誕生日だ。

かいわ 会話：いっしょに 行かない？

だい 第21課

1. わたしは あした 雨が 降ると 思います。
2. わたしは 父に 留学したいと 言いました。
3. 疲れたでしょう？

かいわ 会話：わたしも そう 思います

だい 第22課

1. これは ミラーさんが 作った ケーキです。
2. あそこに いる 人は ミラーさんです。
3. きょう 習った ことばを 忘れました。
4. 買い物に 行く 時間が ありません。

かいわ 会話：どんな 部屋を お探しですか

だい 第23課

1. 図書館で 本を 借りる とき、カードが 要ります。
2. この ボタンを 押すと、お釣りが 出ます。

かいわ 会話：どうやって 行きますか

だい 第24課

1. 佐藤さんは わたしに チョコレートを くれました。
2. わたしは 山田さんに レポートを 直して もらいました。
3. 母は わたしに セーターを 送って くれました。
4. わたしは 木村さんに 本を 貸して あげました。

かいわ 会話：手伝いに 行きましょうか

だい 第25課

1. 雨が 降ったら、出かせません。
2. 雨が 降っても、出かせます。

かいわ 会話：いろいろ お世話に なりました



ぶん けい  
文 型

1. あしたから 旅行りょこうなんです。
2. 生け花いばなを 習ならいたんですが、いい 先生せんせいを 紹介しょうかいして  
いただけませんか。

れい ぶん  
例 文

1. わたなべ 渡辺さんは 時々ときどき 大阪弁おおさかべんを つか  
おおさか 大阪に 住すんで いたんですか。  
……ええ、15歳さいまで 大阪おおさかに 住すんで いました。
2. おもしろい デザインの 靴くつですね。 どこで 買かったんですか。  
……エドヤストアで 買かいました。 スペインの 靴くつです。
3. どうして 遅おくれたんですか。  
……バスが 来こなかったんです。
4. よく カラオケに 行いきますか。  
……いいえ、あまり 行いきません。 カラオケは 好すきじゃ  
ないんです。
5. にほんご 日本語で レポートを 書かいたんですが、ちょっと 見みて  
いただけませんか。  
……いいですよ。
6. こっかいぎじどう 国会議事堂を 見けんがく学がくしたいんですが、どう したら いいですか。  
…… 直ちよくせつ接せつ 行いったら いいですよ。 平へいじつ日は いつでも 見みる  
ことが できます。

## ごみは どこに 出したら いいですか

管理人： ミラーさん、引っ越しの 荷物は 片づきましたか。

ミラー： はい、だいたい 片づきました。

あのう、ごみを 捨てたいんですが、どこに 出したら  
いいですか。

管理人： 燃える ごみは 月曜日と 木曜日の 朝 出して ください。

ごみ置き場は 駐車場の 横です。

ミラー： 瓶や 缶は いつですか。

管理人： 土曜日です。

ミラー： わかりました。 それから お湯が 出ないんですが……。

管理人： ガス会社に 連絡したら、すぐ 来て くれますよ。

ミラー： すみませんが、電話番号を 教えて いただけませんか。

管理人： ええ、いいですよ。



1. 

いく	んです
いかない	
いった	
いかなかった	

*きれいな	んです
きれいじゃ	ない
きれいだった	
きれいじゃ	なかった
- |         |     |
|---------|-----|
| さむい     | んです |
| さむくない   |     |
| さむかった   |     |
| さむくなかった |     |

*びょうきな	んです
びょうきじゃ	ない
びょうきだった	
びょうきじゃ	なかった
2. 

チケットが	いる	んですか。
<small>あたら</small> 新しい パソコンを	かった	
だれに チョコレートを	あげる	
いつ <small>にほん</small> 日本へ	きた	
3. どうして 

<small>かいしゃ</small> 会社を	やすんだ	んですか。
エアコンを	つけない	

  
 …… 

<small>あたま</small> 頭が	いたかった	んです。
	こしょうな	
4. わたしは 

<small>うんどうかい</small> 運動会に	いきません。
----------------------------	--------

<small>ようじ</small> 用事が	ある	んです。
<small>つごう</small> 都合が	わるい	
5. 

<small>しりょう</small> 資料が	ほしい	んですが、
<small>か</small> かた書き方が	わからない	

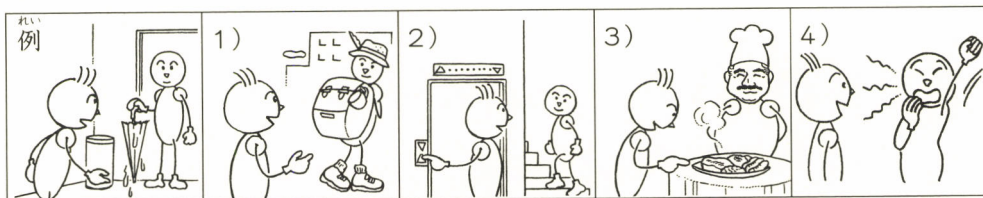
おくって	いただけませんか。
おしえて	
6. さくら大学へ 

<small>だいがく</small> いきたい	んですが、	
<small>ほけんしょう</small> 保険証を	わすれた	

どこで	おりた	ら	いいですか。
どう	した		



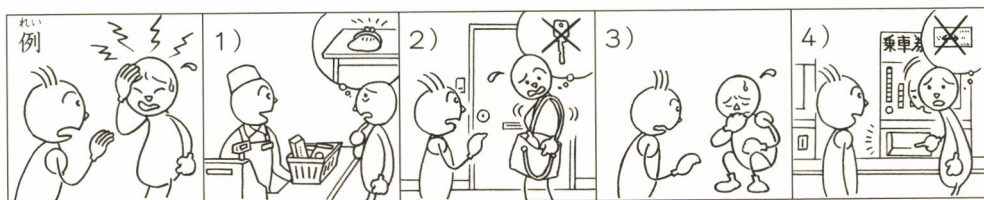
1. 例： 雨が 降って います → 雨が 降って いるんですか。  
↓  
1) 山へ 行きます →  
2) エレベーターに 乗りません →  
3) シュミットさんが 作りました →  
4) 眠いです →



2. 例： いい かばんです・どこで 買いましたか (フリーマーケット)  
→ いい かばんですね。どこで 買ったんですか。  
……フリーマーケットで 買いました。  
1) きれいな 写真です・どこで 撮りましたか (金閣寺) →  
2) おもしろい 絵です・だれが かきましたか (カリナさん) →  
3) ずいぶん にぎやかです・何を やって いますか (盆踊りの 練習) →  
4) 日本語が 上手です・どのくらい 勉強 しましたか (2年) →

3. 例： → どう したんですか。  
↓  
…… 頭が 痛いんです。

- 1) →                    2) →                    3) →                    4) →



4. 例： 会社を やめます (父の 仕事を 手伝います)  
→ どうして 会社を やめるんですか。  
……父の 仕事を 手伝うんです。  
1) 引っ越しします (今の うちが 狭いです) →  
2) ケーキを 食べません (ダイエットを して います) →  
3) 会議に 間に 合いませんでした (新幹線が 遅れました) →  
4) 早く 帰ります (きょうは 妻の 誕生日です) →

5. 例1: 毎朝 新聞を 読みますか。(いいえ・時間が ありません)

→ いいえ、読みません。時間が ないんです。

例2: ビールは いかがですか。(すみません・きょうは 車で 来ました)

→ すみません。きょうは 車で 来たんです。

1) よく 図書館へ 行きますか。

(いいえ、あまり・うちから 遠いです) →

2) きノウ タワポンさんに 会いましたか。

(いいえ・タワポンさんは 学校へ 来ませんでした) →

3) 今 時間が ありますか。

(すみません・これから 会議です) →

4) 今晚 食事に 行きませんか。

(すみません・きょうは ちょっと 約束が あります) →

6. 例: 生け花を 習いたいです・先生を 紹介します

→ 生け花を 習いたいんですが、先生を 紹介して

いただけませんか。

1) 市役所へ 行きたいです・地図を かきます →

2) 今度の 日曜日に パーティーを します・手伝います →

3) メールの 書き方が わかりません・教えます →

4) 日本語で レポートを 書きました・ちょっと 見ます →

7. 例: 金閣寺へ 行きたいです・どの バスに の 乗りますか

→ 金閣寺へ 行きたいんですが、どの バスに 乗ったら

いいですか。

1) 歌舞伎を 見たいです・どこで チケットを 買いますか →

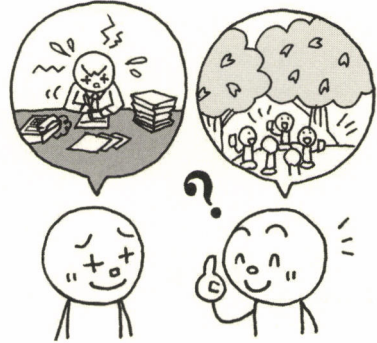
2) 電話番号が わかりません・どうやって 調べますか →

3) 日本人の うちへ 行きます・どんな お土産を 持って 行きますか

→

4) 猫を 拾いました・どう しますか →

1. A: ①お花見は どうでしたか。  
 B: とても 楽しかったです。  
 どうして 来なかったんですか。  
 A: ②忙しかったんです。



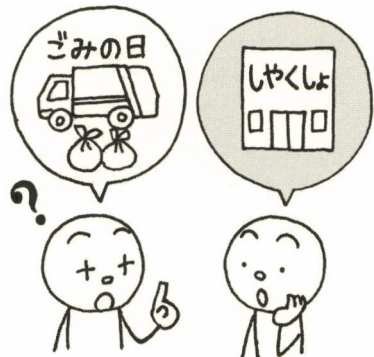
- 1) ① 盆踊り  
 ② ちょっと用事が ありました  
 2) ① 運動会  
 ② 体の調子が 悪かったです

2. A: すてきな ①帽子ですね。 どこで 買ったんですか。  
 B: これですか。 エドヤストアで 買いました。  
 A: すみませんが、②店の 場所を 教えて いただけませんか。  
 わたしも そんな ①帽子を  
 探して いるんです。  
 B: ええ、いいですよ。



- 1) ① かばん  
 ② 店の 地図を かきます  
 2) ① 靴  
 ② 一度 いっしょに 行きます

3. A: ①ごみの日 を 知りたいんですが、どう したら いいですか。  
 B: ②市役所に 聞いたら いいと 思いますよ。  
 A: そうですか。どうも。



- 1) ① ボランティアを します  
 ② インターネットで 調べます  
 2) ① ベッドを 捨てます  
 ② 市役所に 連絡します





CD02 1.

- 1) \_\_\_\_\_
- 2) \_\_\_\_\_
- 3) \_\_\_\_\_
- 4) \_\_\_\_\_



CD03 2.

- 1) ( ) 2) ( ) 3) ( ) 4) ( ) 5) ( )

3. 例：あまり 食べませんね。気分が ( 悪いです → 悪いんです ) か。
- 1) 遅かったですね。何か ( ありました → ) か。
  - 2) いつも 車で 買い物に 行きますね。近くに スーパーは ( ありません → ) か。
  - 3) いつも 帽子をかぶって いますね。  
帽子が ( 好きです → ) か。

4. 例：日本語が 上手ですね。どのくらい 勉強したんですか。  
……4年 勉強しました。

- 1) いい ネクタイですね。 \_\_\_\_\_。  
……エドヤストアで 買いました。
- 2) テレーザちゃん、誕生日 おめでとう ございます。  
\_\_\_\_\_。  
……10歳に なりました。
- 3) カリナさんが 国へ 帰ると、寂しく なりますね。  
\_\_\_\_\_。  
……来月の 4日です。
- 4) ビールを たくさん 買いましたね。  
パーティーは \_\_\_\_\_。  
……50人ぐらい 来ます。

5. 例1： どうして 遅れたんですか。  
……バスが なかなか 来なかったんです。

- 例2： スキー旅行に 行きますか。  
……いいえ。ちょっと 都合が 悪いんです。

- 1) どうして ビールを 飲まないんですか。  
…… \_\_\_\_\_。

2) 目が <sup>め</sup>赤い <sup>あか</sup>ですね。 どう <sup>どう</sup> した <sup>した</sup>んですか。

.....

3) 毎朝 <sup>まいあさ</sup> 新聞 <sup>しんぶん</sup> を <sup>よ</sup> 読み <sup>よ</sup>ますか。

.....いいえ。

4) よく <sup>よく</sup> カラオケ <sup>カラオケ</sup> に <sup>い</sup> 行き <sup>い</sup>ますか。

.....いいえ。

6. 例1: パソコンの <sup>ちようし</sup> 調 <sup>わる</sup>子が <sup>み</sup> 悪い <sup>み</sup>んですが、見て <sup>み</sup> いただけ <sup>み</sup>ませんか。

例2: パソコンを <sup>か</sup> 買 <sup>か</sup>いた <sup>か</sup>いんですが、どこで <sup>か</sup> 買 <sup>か</sup>ったら <sup>み</sup> いい <sup>み</sup>ですか。

あげます 教えます 買います します てっだ 手伝います 見ます

1) 来週 <sup>らいしゅう</sup> の <sup>にちようび</sup> 日曜日 <sup>ひ</sup> <sup>こ</sup> 引越 <sup>こ</sup>し <sup>こ</sup>する <sup>こ</sup>んですが、 \_\_\_\_\_。

2) 歯 <sup>は</sup>が <sup>いた</sup> 痛 <sup>いた</sup>い <sup>は</sup>んですが、いい <sup>はいしゃ</sup> 歯 <sup>は</sup>医 <sup>は</sup>者 <sup>は</sup>を \_\_\_\_\_。

3) 友 <sup>とも</sup>だ <sup>だ</sup>ち <sup>だ</sup>が <sup>けっこん</sup> 結 <sup>け</sup>婚 <sup>こん</sup>する <sup>なに</sup>んですが、何 <sup>なに</sup>を \_\_\_\_\_。

4) パ <sup>ぱ</sup>ス <sup>す</sup>ポ <sup>ぽ</sup>ー <sup>と</sup>を <sup>なく</sup> なく <sup>なく</sup>した <sup>なく</sup>んですが、どう \_\_\_\_\_。

7.

ほしであきひこさま  
星出彰彦様

宇宙

お帰 <sup>かえ</sup>り <sup>かえ</sup>な <sup>かえ</sup>さい。宇 <sup>うちゅう</sup>宙 <sup>うちゅう</sup> は <sup>どう</sup> どう <sup>どう</sup> でした <sup>どう</sup> か。宇 <sup>うちゅう</sup>宙 <sup>うちゅう</sup> 船 <sup>せん</sup> の <sup>そと</sup> 外 <sup>こわ</sup> は <sup>こわ</sup> 怖 <sup>こわ</sup>く <sup>こわ</sup>な <sup>こわ</sup>か <sup>こわ</sup>つた <sup>こわ</sup>です <sup>こわ</sup>か。宇 <sup>うちゅう</sup>宙 <sup>うちゅう</sup> は <sup>いつ</sup> いつも <sup>いつ</sup> 暗 <sup>くら</sup>い <sup>くら</sup>ですが、昼 <sup>ひる</sup> と <sup>よる</sup> 夜 <sup>よる</sup> は <sup>どう</sup> どう <sup>どう</sup> や <sup>どう</sup>つ <sup>どう</sup>て <sup>どう</sup>わ <sup>どう</sup>かる <sup>どう</sup>ん <sup>どう</sup>です <sup>どう</sup>か。

時 <sup>じ</sup>間 <sup>かん</sup> は <sup>にほん</sup> 日 <sup>にほん</sup>本 <sup>じかん</sup> の <sup>つか</sup> 時 <sup>つか</sup>間 <sup>つか</sup> を <sup>つか</sup> 使 <sup>つか</sup>う <sup>つか</sup>ん <sup>つか</sup>です <sup>つか</sup>か。宇 <sup>うちゅう</sup>宙 <sup>うちゅう</sup> の <sup>じかん</sup> 時 <sup>じかん</sup>間 <sup>じかん</sup> が <sup>あ</sup> る <sup>あ</sup>ん <sup>あ</sup>です <sup>あ</sup>か。

宇 <sup>うちゅう</sup>宙 <sup>うちゅう</sup> ス <sup>せいかつ</sup>テ <sup>ちきゅう</sup>ー <sup>せいかつ</sup>シ <sup>ちが</sup>ョ <sup>しよくじ</sup>ン <sup>しよくじ</sup> の <sup>せいかつ</sup> 生 <sup>ちが</sup>活 <sup>しよくじ</sup> は <sup>ちが</sup> 地 <sup>しよくじ</sup>球 <sup>しよくじ</sup> の <sup>せいかつ</sup> 生 <sup>ちが</sup>活 <sup>しよくじ</sup> と <sup>せいかつ</sup> どう <sup>ちが</sup> 違 <sup>しよくじ</sup>う <sup>しよくじ</sup>ん <sup>しよくじ</sup>です <sup>しよくじ</sup>か。食 <sup>しよくじ</sup>事 <sup>しよくじ</sup> は <sup>いち</sup> 1 <sup>かい</sup> 日 <sup>まい</sup> に <sup>まい</sup> 3 <sup>まい</sup> 回 <sup>まい</sup> ですか。毎 <sup>まい</sup>日 <sup>まい</sup> 運 <sup>まい</sup>動 <sup>まい</sup>し <sup>まい</sup>ます <sup>まい</sup>か。シャ <sup>あ</sup>ワー <sup>あ</sup> を <sup>あ</sup> 浴 <sup>あ</sup>び <sup>あ</sup>る <sup>あ</sup>こ <sup>あ</sup>は <sup>あ</sup> でき <sup>あ</sup>る <sup>あ</sup>ん <sup>あ</sup>です <sup>あ</sup>か。宇 <sup>うちゅう</sup>宙 <sup>うちゅう</sup> 飛 <sup>えいご</sup>行 <sup>はな</sup>士 <sup>はな</sup> は <sup>みな</sup> 全 <sup>みな</sup>体 <sup>みな</sup> 英 <sup>えいご</sup>語 <sup>はな</sup> で <sup>はな</sup> 話 <sup>はな</sup>す <sup>はな</sup>ん <sup>はな</sup>です <sup>はな</sup>か。宇 <sup>うちゅう</sup>宙 <sup>うちゅう</sup> 飛 <sup>えいご</sup>行 <sup>はな</sup>士 <sup>はな</sup> は <sup>みな</sup> 全 <sup>みな</sup>体 <sup>みな</sup> 英 <sup>えいご</sup>語 <sup>はな</sup> で <sup>はな</sup> 話 <sup>はな</sup>す <sup>はな</sup>ん <sup>はな</sup>です <sup>はな</sup>か。

僕 <sup>ぼく</sup> も <sup>ぼく</sup> 宇 <sup>うちゅう</sup>宙 <sup>うちゅう</sup> 飛 <sup>えいご</sup>行 <sup>はな</sup>士 <sup>はな</sup> にな <sup>はな</sup>り <sup>はな</sup>たい <sup>はな</sup>ん <sup>はな</sup>です <sup>はな</sup>か、ど <sup>べんきよう</sup>ん <sup>べんきよう</sup>な <sup>べんきよう</sup> 勉 <sup>べんきよう</sup>強 <sup>べんきよう</sup> を <sup>べんきよう</sup> した <sup>べんきよう</sup>ら <sup>べんきよう</sup>い <sup>べんきよう</sup>い <sup>べんきよう</sup>です <sup>べんきよう</sup>か。教 <sup>おし</sup>えて <sup>おし</sup>て <sup>おし</sup>く <sup>おし</sup>だ <sup>おし</sup>さい。

山 <sup>やまだ</sup>田 <sup>たろう</sup>太 <sup>たろう</sup>郎 <sup>たろう</sup>

例: ( ○ ) 星 <sup>ほし</sup>出 <sup>ほし</sup>さん <sup>ほし</sup> は <sup>うちゅう</sup> 宇 <sup>うちゅう</sup>宙 <sup>ひこうし</sup> 飛 <sup>ひこうし</sup>行 <sup>ひこうし</sup>士 <sup>ひこうし</sup> です。

1) ( ) 星 <sup>ほし</sup>出 <sup>ほし</sup>さん <sup>ほし</sup> は <sup>うちゅう</sup> 宇 <sup>うちゅう</sup>宙 <sup>へ</sup> へ <sup>へ</sup> 行 <sup>へ</sup>つ <sup>へ</sup>て、宇 <sup>うちゅう</sup>宙 <sup>せん</sup> 船 <sup>せん</sup> の <sup>そと</sup> 外 <sup>そと</sup> へ <sup>で</sup> 出 <sup>で</sup>ました。

2) ( ) この <sup>か</sup> メ <sup>か</sup>ール <sup>か</sup> を <sup>か</sup> 書 <sup>か</sup>いた <sup>か</sup> 人 <sup>ひと</sup> は <sup>うちゅう</sup> 宇 <sup>うちゅう</sup>宙 <sup>について</sup> に <sup>について</sup> つ <sup>について</sup>いて <sup>について</sup> 研 <sup>けん</sup>究 <sup>けんきゆう</sup>して <sup>けんきゆう</sup> います。

8. 有 <sup>ゆう</sup>名 <sup>ゆうめい</sup>な <sup>ゆうめい</sup> 人 <sup>ひと</sup> で <sup>あ</sup> 会 <sup>あ</sup>いた <sup>あ</sup>い <sup>あ</sup>たい <sup>あ</sup> 人 <sup>ひと</sup> が <sup>あ</sup> います <sup>あ</sup>か。ど <sup>あ</sup>ん <sup>あ</sup>な <sup>あ</sup> こと <sup>あ</sup> を <sup>あ</sup> 聞 <sup>き</sup>きたい <sup>き</sup>い <sup>き</sup>です <sup>き</sup>か。

メ <sup>か</sup>ール <sup>か</sup> を <sup>か</sup> 書 <sup>か</sup>いて <sup>か</sup> くだ <sup>か</sup>さい。